

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：小児（15歳未満）

こんな症状がみられたら、**ためらわずに119番に連絡してください！**  
重大な病気やけがの可能性あります。

**顔**

- くちびろの色が紫色で、呼吸が弱い

**頭**

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

**胸**

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

**手足**

- 手足が硬直している

**おなか**

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**飲み込み**

- 変なものを飲み込んで、意識がない

**じんましん**

- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

**やけど**

- 痛みのおどいやけど
- 広範囲のやけど

**事故**

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

**生まれて3カ月未満の乳児**

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、**ためらわずに119番に連絡してください！**  
重大な病気やけがの可能性あります。

**顔**

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ

**頭**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

**胸や背中**

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

**手足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

**腹**

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**飲み込み**

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない

**事故**

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。  
あわてず、ゆっくりと教えてください。

119番、火事ですか？ 救急ですか？

救急です

住所はどこですか？

〇〇市 〇丁目〇番地です

どうしましたか？

父親が、胸の痛みを訴えて倒れました

おいつつの方ですか？

65歳です

あなたの名前と連絡先を教えてください

私の名前は 〇×〇美です 電話番号は…

- 1 救急であることを伝える**  
119番通報したら、まず「救急です」と伝えてください。
- 2 救急車に来てほしい住所を伝える**  
住所は、必ず市町村名から伝えてください。住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。
- 3 具合の悪い方の症状を伝える**  
最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてください。
- 4 具合の悪い方の年齢を伝える**  
具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。
- 5 あなたのお名前と連絡先を伝える**  
あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問い合わせる必要があります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲で伝えてください。  
※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。

救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくと便利です。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬(おくすり手帳)
- (乳幼児の場合さらに) 母子健康手帳
- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル

救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故や具合が悪くなった状況
- 救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報(持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示等)

持病は●●●  
かかりつけ病院は▲▲▲病院  
普段飲んでいる薬は■ ■ ■

\*持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくとう便利です。

キリトリ

もしものときのためにメモしておきましょう

名前	男・女
生年月日	大・昭・平 年 月 日
住所	
かかりつけ医	
持病	
普段飲んでいる薬	
アレルギーなど	

※保管しておいて、もしものときはこれを救急隊員に見せてください

判断に迷ったときは、お近くの救急相談窓口

急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのか、どこの病院に行けばいいのかわかる迷うことがあります。

そのような時には

次のような電話相談窓口があります。

- ☎ 027-325-0011 病院案内(24時間対応) 吉井地域は 0274-23-6699
- ☎ #8000 群馬こども救急相談